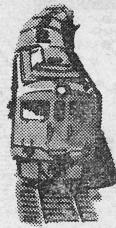


鉄道ピクトリアル

1959年8月号 Vol. 9 №.8

<紀勢本線特集号>



表紙「きのくに」 山口 益生

グラフ

| | | |
|------------|-------------|----|
| 見老津付近 | 藤井 信夫 | 7 |
| 紀勢西線ところどころ | 辰馬 健・一岡 芳樹 | |
| 山口 益生・康乘 | 章・和田 康之 | 8 |
| 紀勢本線のずい道工事 | 岸 弘・辰馬 健 | 10 |
| 雄別の正午 | 高松吉太郎 | 31 |
| 北海道の印象 | 萩原 政男・黒岩 保美 | 32 |
| 勇払原野 | 佐竹 保雄 | 34 |
| 紀勢中線の頃 | 宮松金次郎 | 36 |
| 紀勢東線ところどころ | 増井 仁・辰馬 健 | 38 |
| 紀勢本線の機関車 | 佐竹 保雄 | 59 |

| | | |
|---------|--|----|
| トピック | 紀勢線全通式運転・能登線開通・奥羽線に初のディーゼル機使用・さくら用新車完成・勢揃いしたモハ90・関門ずい道の水防訓練・小田急御殿場線乗り入れ車完成・回転式時刻早見機お目見え・運転士疲労度検査豈橋—東京間で行わる・南海電鉄ズームカー増備車・山陽電鉄特急増備車2000形・函館本線朝里一張碓間岩塊取除き作業始まる・釧路臨港に新鋭DL・モハ90並みのモハ73・準急「比叡」にトレインマーク・新しい称号に塗りかえられた東海形・300トントレーラ日立で完成 | 60 |
| わだいのくるま | (56) 秩父鉄道観光用300形電動客車 | 62 |

記事

| | | |
|------------------------|-------------|----|
| 今月の話題「国鉄動力近代化調査委結論を出す」 | 3 | |
| 紀勢本線の輸送計画 | 藤田 正二 | 4 |
| 紀勢線の全通を迎えて | 久田 富治 | 11 |
| 全通した紀勢本線 | 岸 弘 | 12 |
| 紀勢本線の機関車 | 瀬戸 武夫 | 14 |
| 紀勢本線の気動車 | 滝口 範晴 | 16 |
| 亀山機関区 機関区のぞ記(23) | 竹内 竜三・天塚 忠良 | 18 |
| 紀勢本線案内記 | 田崎乃武雄 | 20 |
| 陸の孤島から...泉州へ | 野村 董 | 22 |
| 陸の孤島へ...西行記 | 紀平 高広・増井 仁 | 26 |
| 紀勢本線の使用客車について | 熊代 幸彦 | 30 |
| 紀勢中線<写真に添えて> | 宮松金次郎 | 39 |
| 黒潮の国を訪ねて | 羽生 浩之 | 40 |
| 東京急行電鉄 [3] 私鉄車両めぐり(36) | 萩原 二郎 | 42 |
| 鉄道写真ノート [5] | 高松吉太郎 | 46 |
| 新編日本鉄道史 [4] | 川上 幸義 | 47 |
| 現有私鉄電気機関車通観 [4] | 吉川 文夫 | 50 |
| 質問に答える | | 54 |
| 読者短信 | | 56 |
| 鉄道の話題 | | 58 |
| 車両の動き | | 63 |
| 新駅・新線開業、TTKだより、後部車から | | 64 |

今月の話題

国鉄動力近代化調査 委結論を出す

昨年3月発足、40回にわたる審議の結果、去る6月19日の最終委員会においてまとめ国鉄総裁に答申した報告書によると、その結論は「日本国有鉄道は遅くとも15年以内に主要線区約5,000キロの電化と、その他線区のディーゼル化をおこない、蒸気運転を全廃すべきである。これはただに国鉄経営上必須であるばかりではなく、国民経済上からもきわめて望ましい」としている。(昭和35年度起点)

ここで電化5,000キロというのは国鉄がいわゆる幹線電化3,300キロ計画と称しているもののうち、未完成の部分3,000キロのほかに、北海道・九州を含む主要線区と、幹線電化にともない輸送系統からみて電化するのを有利とする線区、さらに大都市周辺の通勤圏内の線区を合せた約2,000キロである。さらにもうすでに電化が完了している区間を加えると約7,500キロとなる。(注 その他の線区については一応は全部ディーゼル化するとしている)

国鉄が、こんどの長期計画の中にこの答申のとおりの動力近代化を組み入れるとすれば、昭和50年度の初めには、国鉄全線から煙がなくなり総輸送量の75%が電気による運転、残りがディーゼル運転によって輸送されることとなるが、これが投資差額は1,230億円程度とみられるので実現の見透しは明るい。

表紙「きのくに」 山口益生
105レ 白浜口付近 34-4-1
カメラ ミノルタオートコード
レンズ ロッコールF 3.5 級り
f 8 1/500 秒 フィルムフジSS